

読んでっ!



No. 204

企画・製作・発行 九州ルーテル学院大学チャペル委員会

- 委員長 3PS1 古賀陽菜 ●副委員長 3CE1 千代田徳乃
2PE2 矢野心美
- 編集長 3CE1 山本愛結 ●副編集長 2PE1 上野夢華
- 編集スタッフ(広報系)
4PS1 中川心晴 4PS1 平野和香奈 2PS1 津志田美佑
2PS1 堀川明日海 1CE1 尾田彩華 1CE1 小林実苑乃
1CE2 岡田百加 1PS1 江藤伊織 1PS3 大庭弥晴

次の100年に向けて 九州ルーテル学院大学・保育園・幼稚園 和田チャプレン



「神よ、変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。変えることのできないものについては、それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ。」この『平安の祈り』(by ラインホルト・ニーバー)は戦前、戦中、戦後の苦難に直面した人々を支えてきました。

7月28日の熊本地震発災後、私たちの学院は困難を抱える子どもたちやその家族、教職員に寄り添い歩みを続けてきました。どんな事態に見舞われても、けっして変わることはない神さまの導きが私たちの希望となりました。

創立100周年は、その恵みに支えられた歴史を胸に、未来への一歩を選び取る節目です。受け継ぐべき伝統を大事に、変えることのできるものとできないものを見極める知恵を祈り求め、101年目を共に踏み出しましょう。主の平安のうちに。

100周年の歩みと歴史 ルーテル学院中学・高校 野口チャプレンより

100年という響きは、途方もなく長く感じるかもしれません。しかし九州女学院として始まったこの学校は、一人の人が建て、今日まで支え動かしてきたものではありません。その時々先生や職員の方々、そこで学ぶ多くの生徒・児童・学生たち。そして祈ってくださった多くの人々の全ての時間がバトンのようにつなげられてできた100年なのです。ですからこの100年という歴史は、ひとりでは到底できないと思えるようなことでも、皆でやればできる、ということをお教えると思います。そのために必要なのは、皆と一緒に、心をどこに向けるかということです。この学校はキリスト教主義の学校です。その中心にはいつだって聖書の言葉があり、聖書の言葉が、人々をつなげてきたのです。さあ、次の100年を形作っていくのは、これを読んでいる皆さんです。聖書の言葉を心の指針にして、101年目の歴史をみなさんの手で造っていきましょう。



いのちを豊かに受けるため インター小 安達チャプレンより

災害や戦争、地球温暖化が深刻化し、AI技術が世界を激変させると言われる激動の時代の中で、本学院は創立百周年を迎えました。これまで様々な変化を乗り越えてきた本学院は、「わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである」というイエス・キリストのみ言葉を学院聖句として歩んでまいりました。そして今、改めてこのみ言葉を深く心に刻み、次の100年も繰り返し聴きながら歩むよう、導かれていると感じております。イエスは、「天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない」と言われました。私たちはこれからも、み言葉に深く聴き入り、イエス・キリストとの交わりを深めながら、学び歩むよう導かれています。一人ひとりの人生の旅路において、たとえ何が起ころうとも、私たちは豊かで意味のある「いのち」を与えられているのです。

フィリア祭のお知らせ

11月3日(火)に、本学で「フィリア祭」が開催されます。フィリア(Philia)とは、ギリシア語で「友愛」「親愛」「友情」などを意味する言葉です。

昨年度は、ダンスや音楽などのステージイベント、トークショー、部・同好会による模擬店などが行われました。今年度はイントロクイズなどが予定されており、チャペル委員会も模擬店を出店します。ぜひお立ち寄りください。フィリア祭は、学生をはじめ多くの方々の協力によって開催されます。そのことへの感謝を忘れず、皆さんで素敵な思い出をつくりましょう。

4PS1 中川

今年7月に発生した熊本地震で被害にあわれた方、亡くなられた方に、心からお見舞い申し上げます。10年前に発生した地震の復興半ばで発生したため、自宅が半壊・全壊したり、交通機関が機能しなくなったりしたと思います。

生活や余震への不安はあると思います。私も、10年前はそうでした。

そんな時こそ、先生方や友達に頼ってください。きっと、あなたの力になるはずです。

1日でも早く、皆さんが元の日常に戻れるように願っています。

100周年記念号を作成するにあたり

100周年記念号を発行するにあたり、和田チャプレン、野口中高チャプレン、安達インター小チャプレンに協力していただきました。

実を言うと、九州ルーテル学院の敷地に隣接する3校のチャプレン3人に、同じ紙面の記事を書いていただくという試みをしたのは初めてのことでした。快諾して下さったことに半ば驚きつつ、本当に感謝しかありません。

野口チャプレン、安達チャプレン、和田チャプレン、そして今回の記事にご協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。

3CE1 山本

100周年記念行事報告

創立100周年を記念し、10月2日にルーテル学院中学・高等学校礼拝堂において記念礼拝が行われました。礼拝堂には多くの卒業生や関係者が集い、学院の歩みを振り返りながら、これまで支えてくださった方々への感謝を分かち合いました。

礼拝では清重尚弘名誉院長による説教が行われ、これまでの歩みへの感謝を神に捧げるとともに、建学の精神を改めて確認し、今後の学院の発展と歩みが祝福されるよう祈りが捧げられました。

創立100年の歴史を受け止め、受け継いできたものを次世代へつなぐことを考える、節目の一日となりました。

2PS1 津志田



編集後記

夏休みが明け、後期が始まりました。

キャンパスにもいつもの賑わいが戻っています。

キリスト教講演会に続き、フィリア祭やクリスマス礼拝など、心温まる行事が続く季節です。今年は創立100周年という特別な年でもあり、大学での歩みを皆で分かち合えることを嬉しく思います。

チャペル新聞も、学生の皆さんに寄り添う紙面をお届けしていきます。

2PE1 上野

